

(1)事業の概要等

令和7年度 詳細評価シート

事業番号	Z3203	事務事業名	SDGs未来都市推進事業				事業期間	令和3年度	～	令和9年度以降							
実施計画事業	○	担当部	市長公室				担当課・担当係	秘書政策課 市政戦略係									
評価対象年度	令和 6 年度	基本 施策	32	展開 方向	3	事業区分	その他(評価対象)	款	2	項	1	目	2	大	4	中	5
事業の概要・展開	小牧市まちづくり推進計画(R5年～R8年)	分野別計画編				事業概要				<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsこまきカードの体験会・ファシリティ養成講座の実施</li> <li>・SDGsの推進に取り組む「こまきSDG推進パートナー」が情報発信する特設サイトを運用した。また、パートナー同士の交流会を実施した。</li> <li>・こどもたち(小4～6)が夏休み期間中にSDGsや社会について学ぶ「こまきこども未来大学」や、市職員を対象にした職員研修を実施した。</li> </ul>							
	事業の目的・効果	小牧市は令和3年度に尾張地域で初のSDGs未来都市に選定されており、こどもから高齢者まで誰もが住みたい、住み続けたいまちづくりに取り組むことで、市民、地域、学校、団体、企業とともに“誰一人取り残さない”多様性と包摂性のある社会の実現、持続可能な地域社会の実現を目指す。															
事業の経緯・年度計画	R4:こまきこども未来大学の開講、啓発品(ネックストラップ、ボールペン)の作製、職員研修、SDGs登録制度・交流サイトの構築 R5:こまきこども未来大学、啓発品(ネックストラップ、ロールアップバナー)の作製、職員研修、交流会、SDGsこまきカードの作成 R6:SDGsこまきカードの体験会・ファシリテーター養成講座、こまきこども未来大学、高校生版未来大学、交流会 R7:市制70周年記念デジタルパネル展の映像制作、こまきこども未来大学、交流フェア・交流会、SDGsこまきカードを活用した講座開催																

(2)事業費

事業費	項目	単位等	R3	R4	R5	R6	R7	
			直接経費	決算額	千円	2,211	6,989	6,183
	財源	一般財源 国・県支出金 その他						
		計(A)	2,211	6,989	6,183	6,452		
		対前年比	—	316.10%	88.47%	104.35%		
		予算額	千円	2,419	7,882	6,596	6,452	5,295
人件費		正規職員	人	0.5	0.7	0.7	0.7	
		会計年度任用職員	人	0	0	0	0	
		人件費(B)	千円	3,762	5,267	5,267	5,267	
事業費合計(C=A+B)			千円	5,973	12,256	11,450	11,719	

(3)業績

指標	指標ほか	単位	R3	R4	R5	R6	R7
			成果指標	こまきSDGs推進パートナーの登録数	件		10
活動指標	こまきこども未来大学の講座数	講座	目標	—	—	—	—
			実績	11	17	10	

(4)事業の評価

事業の方向性	維持(改善)	事務事業評価による額	1,980	千円
事業の実施状況	事業の目的の達成状況及び指標の達成状況	<p>令和6年度は「こまきこども未来大学」の講座の内容について、こどもたちがより興味を持てるような講座内容となるように対象者を小学生に限定し、ノウハウを有するこまき市民活動ネットワークが企画のブラッシュアップなどをコーディネートした結果、受講者数は減少したものの、「しっかりと学べましたか？」の質問に対して、5段階評価で4及び5と回答したこども及び保護者の割合が約90%となった。</p> <p>また、SDGs推進パートナーの登録数については、学校・企業・団体に対して、制度の個別周知を積極的に行った結果、登録数を大幅に増加することができた。</p> <p>他企業・団体等との対面交流の場としての交流会を1回開催し、18団体・23名の参加者があった。</p>	今後の実施内容	<p>より良い未来のためにSDGsを共に推進するため、小牧市と関わりがありSDGsに取り組む企業・団体とつながりを持つこまき市民活動ネットワークと引き続き連携していく。</p> <p>SDGs登録制度について、登録数の増加を図るフェーズから、登録企業同士の交流・マッチングの推進、登録企業の取組をさらに推進するフェーズに移行していく。</p> <p>R6交流会に参加した企業・団体アンケートにおいて、SDGsまちづくり交流サイトで自身または他社の取組などを見たことがある企業等は42%であり、交流機能があまり活用されていない状況である。また、市に求める支援については、「他企業・団体等との対面交流の場として、交流会の実施回数の増加」のニーズが高いことが分かった。</p> <p>そのため、小牧市独自の取組である「こまきこども未来大学」の講座を拡充するとともに、登録企業同士の交流の場の創出や登録企業の取組内容の周知啓発を図っていく。</p>
	E(廃止)業務自体を無くせるか	No	改善取組内容	R5から運用してきたSDGsまちづくり交流サイトについてはR7末をもって廃止し、代替手段として、R8以降は市HPやロゴフォームを活用して、SDGs推進パートナーの活動紹介等を行い、経費削減を図る。(1,980千円/年)
	C(結合)作業をまとめられるか	No		
	R(入替・代替)手順や担当を変えられるか	Yes		
	S(単純化)もっと簡単にできるか			